

## ■ 附録 1 団体調査一覧

---

団体名	日本アイススレッジホッケー協会	設立	2006 年
-----	-----------------	----	--------

### ■事務局の概要について

法人格	—		取得年 (取得予定)	2014 年(予定)	取得の 課題	人材不足
事務局 運営	設置場所	役員の自宅に付設		職員雇用	なし/総務・経理・国際担当理 事が兼務	
	主な 事務内容	・JPC強化費申請 ・各種助成金申請 ・JPC強化事業報告作成 ・国際パラリンピック委員会との折衝、報告、選手登録事務 ・国際、国内大会開催 ・各国との交渉 ・強化合宿(年 14 回)の実施 ・海外遠征の実施				
運営の 仕組み	定款	規約	会計責任者	会計監査の仕組み	危機管理や法令遵守等の対応マニュアル	
	×	○	○	○	×	
競技登録者数	男子	40		国際大会をめぐらず競技者数	男子	21
	女性	2			女性	0
	合計	42			合計	21
競技の特徴	健全者のアイスホッケーとほぼ同じルールで行われる、激しいコンタクトスポーツ					

### ■他団体との関係について

他の団体との関係		協力内容
JOC 加盟 団体	日本アイスホッケー連盟[協力]	審判の派遣
JPC 加盟 団体	—	—
地域団体	地域・障害者スポーツ協会	アイススレッジホッケー体験会の開催
	地域・障害者スポーツ指導者協議会	国際大会開催時のボランティアスタッフ派遣
その他の障害者スポーツ統括競技団体	(財)全日本ろうあ連盟	×
	(社福)日本盲人連合	×
	(公財)スペシャルオリンピクス日本	×
	(NPO)日本知的障害者スポーツ連盟	×
その他の団体	(公財)日本精神保健福祉連盟	×
	(社)パラリンピアンズ協会	理事の派遣
	長野赤十字病院	チームドクターの派遣
	やまびこスケートの森	練習場の提供・栄養サポート
	長野 IH 連盟	国際大会の支援
—	—	—

■施設の利用状況ならびに活動拠点について

NTC 及び JISS の利用状況	利用実績	利用機会	施設に関する要望
ナショナルトレーニングセンター (NTC)	なし		アイスリンクを作ってほしい
国立スポーツ科学センター (JISS)	なし	-	-
活動拠点	課題・要望		
やまびこスケートの森 (長野県岡谷市)	夏場は高校や大学のアイスホッケー部の合宿があり、リンクの取り合いになっている。そのため、練習時間が午前 4 時からもしくは、真夜中になってしまう。毎年 9 月に翌年のスケジュールを提出しているにもかかわらず、毎年同じことがくり返されている。		

■競技種目における強豪国と強化の特徴

強豪国名	強さの背景にある特徴
アメリカ、カナダ	-
ロシア	-
韓国	-

■事業活動の現状

初心者講習会	指導者講習会	審判員講習会	クラシファイア講習会	ジュニア育成事業	タレント発掘事業	その他
○	×	○	○	○	○	-

■2010 バンクーバーパラリンピックおよび 2012 ロンドンパラリンピックの後、競技団体の組織運営上の動向について

--

■2011 スポーツ基本法成立・2012 スポーツ基本計画策定の後、選手強化策などの団体の施策変化について

--

■JPC への要望

組織の無駄を極力なくしてほしい
-----------------

団体名	<b>特定非営利活動法人</b> <b>日本ディスエイブル・パワーリフティング連盟</b>	設立	1999年
-----	--	----	-------

■事務局の概要について

法人格	NPO 法人		取得年 (取得予定)	2013年	取得の 課題	特になし
事務局 運営	設置場所	役員の自宅に付設		職員雇用	なし/理事長 事務局が兼務	
	主な 事務内容	ボランティアで事務局を運営しています。				
運営の 仕組み	定款	規約	会計責任者	会計監査の仕組み	危機管理や法令遵守等の対応マニュアル	
	○	○	○	○	×	
競技登録者数	男子	30		国際大会を め ざす競技者数	男子	15
	女性	2			女性	2
	合計	32			合計	17
競技の特徴	筋力勝負の競技なので、年齢層が広い。ジュニア～50 才代でもパラリンピックのメダリストがいる。					

■他団体との関係について

他の団体との関係		協力内容
JOC 加盟 団体		
JPC 加盟 団体	日本ディスエイブル・パワーリフティング連盟	補助金、国際大会派遣、その他
地域団体	地域・障害者スポーツ協会	×
	地域・障害者スポーツ指導者協議会	当連盟の指導者は、この協議会に加盟している。
その他の障 害者スポー ツ統括競技 団体	(財)全日本ろうあ連盟	×
	(社福)日本盲人連合	×
	(公財)スペシャルオリンピクス日本	×
	(NPO)日本知的障害者スポーツ連盟	×
その他の 団体	(公財)日本精神保健福祉連盟	×
	(社)パラリンピアンズ協会	当連盟所属のパラリンピック経験者が加盟している
	-	-
	-	-
	-	-

■施設の利用状況ならびに活動拠点について

NTC 及び JISS の利用状況	利用実績	利用機会	施設に関する要望
ナショナルトレーニングセンター (NTC)	なし		ぜひNTCを利用して合宿等を行いたいが、現在JOC対象のみでJPC関連には使わせて頂けない
国立スポーツ科学センター (JISS)	なし	-	-
活動拠点	課題・要望		
-	個人宅、個人ジム、強化拠点を作りたい		

■競技種目における強豪国と強化の特徴

強豪国名	強さの背景にある特徴
イラン、中国、エジプト、 ナイジェリア	1) 競技＝仕事という考え方(給料をもらいながら練習をしている) 2) 活躍＝生涯安定収入(国際大会で活躍したら年金が補償される) 3) 指導者＝国の役人的待遇 →要するに選手もコーチも役員も全てプロ⇒日本のように手弁当でのコーチ、役員、仕事をしながら合間に練習するのとは全く違っている。
-	-
-	-

■事業活動の現状

初心者講習会	指導者講習会	審判員講習会	クラシファイア講習会	ジュニア育成事業	タレント発掘事業	その他
○	○	○	×	×	×	-

■2010 バンクーバーパラリンピックおよび 2012 ロンドンパラリンピックの後、競技団体の組織運営上の動向について

1) 任意団体→NPO法人化する 2) 法人化に伴って、定款、規約等の整備
--

■2011 スポーツ基本法成立・2012 スポーツ基本計画策定の後、選手強化策などの団体の施策変化について

まだまだ不十分だが、競技者を競技者待遇で雇用する企業が出て来た
---------------------------------

■JPC への要望

大変お世話になっているので、今後共よろしく願いたい。
----------------------------

団体名	特定非営利活動法人 日本視覚障害者柔道連盟	設立	1986年
-----	-----------------------	----	-------

■事務局の概要について

法人格	NPO 法人		取得年 (取得予定)	2008年	取得の 課題	-
事務局 運営	設置場所		役員の職場に付設		職員雇用	あり／
	主な 事務内容 外部からの情報の伝達、調整。内部からの情報発信、会計等。					
運営の 仕組み	定款	規約	会計責任者	会計監査の仕組み	危機管理や法令遵守等の対応マニュアル	
	○	○	○	○	×	
競技登録者数	男子	50		国際大会を め ざす競技者数	男子	15
	女性	10			女性	5
	合計	60			合計	20
競技の特徴	視覚障害者柔道は、相手と組み合って行う競技であるため、視覚に障害があっても健常者と十分に練習を行うことができ、競技力向上には大変適したスポーツである。					

■他団体との関係について

	他の団体との関係	協力内容
JOC 加盟 団体	全日本柔道連盟[協力]	合宿での支援を受けている。
JPC 加盟 団体	-	-
地域団体	地域・障害者スポーツ協会	×
	地域・障害者スポーツ指導者協議会	×
その他の障 害者スポー ツ統括競技 団体	(財)全日本ろうあ連盟	×
	(社福)日本盲人連合	○本連盟の事務局が設置
	(公財)スペシャルオリンピクス日本	×
	(NPO)日本知的障害者スポーツ連盟	×
その他の 団体	(公財)日本精神保健福祉連盟	×
	(社)パラリンピアンズ協会	×
	全国盲学校体育連盟	全国の学生大会実施
	-	-
	-	-

■施設の利用状況ならびに活動拠点について

NTC 及び JISS の利用状況	利用実績	利用機会	施設に関する要望
ナショナルトレーニングセンター (NTC)	なし	-	-
国立スポーツ科学センター (JISS)	なし	-	-
活動拠点	課題・要望		
講道館 (東京都)	大変協力的であり、感謝している。		

■競技種目における強豪国と強化の特徴

強豪国名	強さの背景にある特徴
フランス	1) 国策として進めている。 2) 柔道を行う環境が整備されている。 3) 選手層のすそ野が広い。
ブラジル	1) 国策として進めている。 2) 体位、体力に優れている。 3) 指導者に恵まれている。
ロシア	1) サンボ(柔道に似た競技)を土台とした基礎・基本が充実している。 2) 体位、体力に優れている。

■事業活動の現状

初心者講習会	指導者講習会	審判員講習会	クラシファイア講習会	ジュニア育成事業	タレント発掘事業	その他
○	○	×	×	○	○	-

■2010 バンクーバーパラリンピックおよび 2012 ロンドンパラリンピックの後、競技団体の組織運営上の動向について

1) 視覚障害柔道の理解、啓発に力を入れる。 2) 若手選手の発掘に力を入れる。 3) 海外、及び国内合宿の充実を図る 4) メディカルトレーナーの充実を図る 5) 英語に強いスタッフの強化を図る
--

■2011 スポーツ基本法成立・2012 スポーツ基本計画策定の後、選手強化策などの団体の施策変化について

この法律による変化は特にありません。
--------------------

■JPC への要望

各種支援に感謝しています。
---------------

団体名	特定非営利活動法人 日本盲人マラソン協会	設立	1984年
-----	----------------------	----	-------

■事務局の概要について

法人格	NPO 法人		取得年 (取得予定)	1999年	取得の 課題	-
事務局 運営	設置場所	専用の事務局を設置			職員雇用	あり／
	主な 事務内容	事務局に3名、週3回交代で勤務。他に地方在住の職員1名				
運営の 仕組み	定款	規約	会計責任者	会計監査の仕組み	危機管理や法令遵守等の対応マニュアル	
	○	○	○	○	×	
競技登録者数	男子	150		国際大会を め ざす競技者数	男子	12
	女性	50			女性	6
	合計	200			合計	18
競技の特徴	視覚障害者が行うためには、伴走者(ガイドランナー)が必須である。特にマラソンでは、一人の選手に対して、2名の伴走者が必要となる。よって、国内・外を問わず、大会参加には交通費や宿泊費など費用がかかる。					

■他団体との関係について

他の団体との関係		協力内容
JOC 加盟 団体	日本陸上競技連盟[協力]	情報の共有、大会への参加
JPC 加盟 団体	身障陸連	国際大会への共同派遣、選手強化体制、強化コーチの交流
地域団体	地域・障害者スポーツ協会	○大会の協同開催
	地域・障害者スポーツ指導者協議会	○視覚障害者競技団体との情報交換
その他の障 害者スポー ツ統括競技 団体	(財)全日本ろうあ連盟	×
	(社福)日本盲人連合	○定期的な情報の交換会
	(公財)スペシャルオリンピクス日本	×
	(NPO)日本知的障害者スポーツ連盟	×
その他の 団体	(公財)日本精神保健福祉連盟	×
	(社)パラリンピアンズ協会	会員の入会、MLの購読
	-	-
	-	-
	-	-

■施設の利用状況ならびに活動拠点について

NTC 及び JISS の利用状況	利用実績	利用機会	施設に関する要望
ナショナルトレーニングセンター (NTC)	なし		マラソンなのでロード練習が中心なので、メリットがあまりない。
国立スポーツ科学センター (JISS)	なし	-	マラソンなのでロード練習が中心なので、メリットがあまりない。
活動拠点	課題・要望		
(千葉県富津市)	富津公園周辺や陸上競技場を利用。実業団や学生等の利用が増えてきており、安全の確保が課題。		

■競技種目における強豪国と強化の特徴

強豪国名	強さの背景にある特徴
ブラジル	1) 選手発掘・育成システム 2) 2016年リオへ向けた国のバックアップ
ケニア	1) 国のバックアップ(選手の活動資金、伴走者のプロ化) 2) 健常の長距離選手のレベルが高い
スペイン	1) 国のバックアップ(活動資金)

■事業活動の現状

初心者講習会	指導者講習会	審判員講習会	クラシファイア講習会	ジュニア育成事業	タレント発掘事業	その他
○	○	×	×	○	○	-

■2010バンクーバーパラリンピックおよび2012ロンドンパラリンピックの後、競技団体の組織運営上の動向について

1) 陸上3団体の連携強化 2) 女子・強化指定選手制度の立ちあげ
--------------------------------------

■2011スポーツ基本法成立・2012スポーツ基本計画策定の後、選手強化策などの団体の施策変化について

-
---

■JPCへの要望

1) 選手発掘への協力 2) 強化予算の増額 3) 国際大会への選手派遣の協力 4) 障害種類毎の競技団体の連携強化
---

団体名	日本身体障害者陸上競技連盟	設立	1988年
-----	---------------	----	-------

### ■事務局の概要について

法人格	—	取得年 (取得予定)	2013~14年 (予定)	取得の 課題	—
事務局 運営	設置場所	強化委員会事務局を設置 事務局①は役員の職場に付設 事務局②は役員の自宅に付設		職員雇用	なし/ 強化委員会事務局は強化事務 局長 事務局①②事務局長が 兼務
	主な 事務内容	強化委員会事務局では選手強化、国際大会派遣、合宿等の運営 事務局①②では一般事務、国内、国際登録等			
運営の 仕組み	定款	規約	会計責任者	会計監査の仕組み	危機管理や法令遵守等の対応マニュアル
	×	○	○	○	×
競技登録者数	男子	434	国際大会を め ざす競技者数	男子	—
	女性	94		女性	—
	合計	528		合計	—
競技の特徴	—				

### ■他団体との関係について

	他の団体との関係	協力内容
JOC 加盟 団体	日本陸上競技連盟[協力]	国内大会の審判等依頼、NTC 利用に対して配慮、 大阪マラソン他一般大会後援、協力
JPC 加盟 団体	①日本盲人マラソン協会 ②日本知的陸上 ③日本聴覚陸上	国際大会派遣等、ジャパンパラ陸上競技大会
地域団体	地域・障害者スポーツ協会	○国内大会や合宿時に協力していただいている
	地域・障害者スポーツ指導者協議会	○国内大会時に協力していただいている
その他の障 害者スポ ーツ統括競 技団 体	(財)全日本ろうあ連盟	×
	(社福)日本盲人連合	×
	(公財)スペシャルオリンピクス日本	×
	(NPO)日本知的障害者スポーツ連盟	×
その他の 団体	(公財)日本精神保健福祉連盟	×
	(社)パラリンピアンズ協会	×
	日本陸上競技連盟	国内大会の審判等依頼、NTC 利用に対して配慮、 大阪マラソン他一般大会後援・協力
	三井住友海上あいおい生命	スポンサー
	グロリアツアーズ	スポンサー
	—	—

■施設の利用状況ならびに活動拠点について

NTC 及び JISS の利用状況	利用実績	利用機会	施設に関する要望
ナショナルトレーニングセンター (NTC)	あり	パラリンピック前	利用規定を作成して日本陸連に提出。日本陸連を通して利用。
国立スポーツ科学センター (JISS)	なし	-	現在はこの方法で良いと思う。
活動拠点	課題・要望		
-	今後 NTC を積極的に利用したい。陸上競技場の確保がむずかしいです。		

■競技種目における強豪国と強化の特徴

強豪国名	強さの背景にある特徴
-	-
-	-
-	-

■事業活動の現状

初心者講習会	指導者講習会	審判員講習会	クラシファイア講習会	ジュニア育成事業	タレント発掘事業	その他
×	×	○	○	○	○	-

■2010 バンクーバーパラリンピックおよび 2012 ロンドンパラリンピックの後、競技団体の組織運営上の動向について

<p>1)法人化に向けて作業しています。 2)強化委員会事務局・事務局員を設けました。</p>
---

■2011 スポーツ基本法成立・2012 スポーツ基本計画策定の後、選手強化策などの団体の施策変化について

<p>特になし</p>
-------------

■JPC への要望

<p>助成金が団体におりてくるのが 8 月になるので、それまでの事業の支出に関して業者に待っていただいたりしてやりくりしています。 仕方のないこととは思いますが、年度始めから支援があればと思います。</p>
---

団体名	特定非営利活動法人 日本障害者スポーツ射撃連盟	設立	1995年
-----	-------------------------	----	-------

### ■事務局の概要について

法人格	NPO 法人		取得年 (取得予定)	2002年	取得の 課題	-
事務局 運営	設置場所	役員の自宅に付設			職員雇用	なし/理事、事務局長が兼務
	主な 事務内容	会員登録、助成金業務、クラス分け交付、団体経理、大会企画、大会参加申込、国際大会参加事務等				
運営の 仕組み	定款	規約	会計責任者	会計監査の仕組み	危機管理や法令遵守等の対応マニュアル	
	○	×	○	○	×	
競技登録者数	男子	80	国際大会を め ざす競技者数	男子	6	
	女性	30		女性	4	
	合計	110		合計	10	
競技の特徴	銃器の使用に対し厳しい法規制があり、重度者は全く競技参加できない。パラリンピックがあるという前提が銃刀法の中にある。海外に比べ決定的に不利な環境にある。					

### ■他団体との関係について

	他の団体との関係	協力内容
JOC 加盟 団体	公益社団法人日本ライフル射撃協会[加盟]	銃規制への対応が必要なので、加盟しない形は現状選択不可
JPC 加盟 団体	-	-
地域団体	地域・障害者スポーツ協会	×
	地域・障害者スポーツ指導者協議会	×
その他の障 害者スポー ツ統括競技 団体	(財)全日本ろうあ連盟	×
	(社福)日本盲人連合	×
	(公財)スペシャルオリンピクス日本	×
	(NPO)日本知的障害者スポーツ連盟	×
その他の 団体	(公財)日本精神保健福祉連盟	×
	(社)パラリンピアンズ協会	○選手が理事として活動している
	-	-
	-	-
	-	-

■施設の利用状況ならびに活動拠点について

NTC 及び JISS の利用状況	利用実績	利用機会	施設に関する要望
ナショナルトレーニングセンター (NTC)	なし	-	-
国立スポーツ科学センター (JISS)	なし	-	障害がある選手が使える(一人でもアクセスできる)環境を望む。アテネパラ前に使用した。
活動拠点	課題・要望		
出雲エアライフル射撃場 (島根県出雲市)	練習種目が限られる。地理的に不便さはある。		

■競技種目における強豪国と強化の特徴

強豪国名	強さの背景にある特徴
韓国	1)行政・企業の強力なサポート 2)射撃競技の環境の充実
イギリス	1)ロンドンパラで強化が進んだ(詳細は不明)
-	-

■事業活動の現状

初心者講習会	指導者講習会	審判員講習会	クラシファイア講習会	ジュニア育成事業	タレント発掘事業	その他
×	×	×	×	×	×	-

■2010 バンクーバーパラリンピックおよび 2012 ロンドンパラリンピックの後、競技団体の組織運営上の動向について

特になし
------

■2011 スポーツ基本法成立・2012 スポーツ基本計画策定の後、選手強化策などの団体の施策変化について

特になし
------

■JPC への要望

片手間でしか取り組めず、いつもご迷惑をおかけしています。
------------------------------

団体名	日本肢体不自由者卓球協会	設立	1981年
-----	--------------	----	-------

■事務局の概要について

法人格	-		取得年 (取得予定)	-年	取得の 課題	-
事務局 運営	設置場所	役員の自宅に併設			職員雇用	なし/事務局長が兼務
	主な 事務内容	-				
運営の 仕組み	定款	規約	会計責任者	会計監査の仕組み	危機管理や法令遵守等の対応マニュアル	
	×	○	○	○	×	
競技登録者数	男子	206		国際大会を め ざす競技者数	男子	24
	女性	65			女性	5
	合計	271			合計	29
競技の特徴	<p>障害者卓球のうち、肢体不自由者においては、大きく2通りである。</p> <p>② 椅子使用者: サービスに対する制限以外は、健常者と同じルールである。</p> <p>② 立位: 健常者と全く同じルール</p>					

■他団体との関係について

他の団体との関係		協力内容
JOC 加盟 団体	(公財)日本卓球協会[加盟]	助成金、大会後援名義使用、オリ・パラ合同壮行会
JPC 加盟 団体	日本知的障害者卓球連盟	国際大会の選手派遣
地域団体	地域・障害者スポーツ協会	×
	地域・障害者スポーツ指導者協議会	×
その他の障 害者スポー ツ統括競技 団体	(財)全日本ろうあ連盟	×
	(社福)日本盲人連合	×
	(公財)スペシャルオリンピクス日本	×
	(NPO)日本知的障害者スポーツ連盟	×
その他の 団体	(公財)日本精神保健福祉連盟	×
	(社)パラリンピアンズ協会	×
	-	-
	-	-
	-	-

■施設の利用状況ならびに活動拠点について

NTC 及び JISS の利用状況	利用実績	利用機会	施設に関する要望
ナショナルトレーニングセンター (NTC)	なし		-
国立スポーツ科学センター (JISS)	なし	-	-
活動拠点	課題・要望		
大阪舞洲障害者 SC (大阪市此花区)	合宿開催における日程確保		

■競技種目における強豪国と強化の特徴

強豪国名	強さの背景にある特徴
中国	1)膨大な選手数からの選考 2)専門コーチ陣の財源確保 3)障害者卓球の専用練習所の確保
フランス	1)障害者プロ卓球選手(給与) 2)専門コーチ陣の財源確保 3)遠征費等すべて国が負担
-	-

■事業活動の現状

初心者講習会	指導者講習会	審判員講習会	クラシファイア講習会	ジュニア育成事業	タレント発掘事業	その他
×	×	×	×	×	×	-

■2010 バンクーバーパラリンピックおよび 2012 ロンドンパラリンピックの後、競技団体の組織運営上の動向について

特になし
------

■2011 スポーツ基本法成立・2012 スポーツ基本計画策定の後、選手強化策などの団体の施策変化について

特になし
------

■JPC への要望

競技団体運営に対する支援(例:事務所スペースの一括借り上げ、事務処理スタッフの人件費)
---

団体名	特定非営利活動法人 日本パラローイング協会	設立	2006年
-----	-----------------------	----	-------

■事務局の概要について

法人格	NPO 法人		取得年 (取得予定)	2007年	取得の 課題	-
事務局 運営	設置場所	専用の事務局を設置			職員雇用	なし/事務局長が兼務
	主な 事務内容	各位役割分担にて対処(無給)				
運営の 仕組み	定款	規約	会計責任者	会計監査の仕組み	危機管理や法令遵守等の対応マニュアル	
	○	○	○	○	○	
競技登録者数	男子	40		国際大会を め ざす競技者数	男子	10
	女性	10			女性	4
	合計	50			合計	14
競技の特徴	基本、国内外の大会同時開催、艇、種目を除き健常者とは同様の練習体制を組む事が出来、早い時期から交流を持つ事により競技に対する実戦が身に着く事が多くある。					

■他団体との関係について

他の団体との関係		協力内容
JOC 加盟 団体	日本ボート協会[協力]	規約、コンプライアンス、ドーピング(医師連携)、基本的に種目以外は同じ
JPC 加盟 団体	-	-
地域団体	地域・障害者スポーツ協会	○47 都道府県ボート協会内地域担当者よりの情報交換
	地域・障害者スポーツ指導者協議会	-
その他の障 害者スポ ーツ統括競 技団体	(公財)スペシャルオリンピクス日本	○ID(知的)選手の紹介等(地域により)
	(NPO)日本知的障害者スポーツ連盟	○ID(知的)選手の紹介等(地域により)
	-	-
	-	-
その他の 団体	(社)パラリンピアンズ協会	×
	特別支援学校(横浜)	普及養成練習指導
	岐阜県川辺町	障がい者普及養成練習指導
	-	-
	-	-

### ■施設の利用状況ならびに活動拠点について

NTC 及び JISS の利用状況	利用実績	利用機会	施設に関する要望
ナショナルトレーニングセンター (NTC)	あり		場合によって(健常者との交流時)
国立スポーツ科学センター (JISS)	あり	-	場合によって(健常者との交流時)
活動拠点	課題・要望		
戸田、鶴見川、相模湖、諏訪湖 (埼玉、横浜、神奈川、長野)	水上での練習場所は制約が多く、遠方、移動等では時間がとられ、多くの練習時間をとるためには合宿等の長期となる。		

### ■競技種目における強豪国と強化の特徴

強豪国名	強さの背景にある特徴
中国	1)支援充実:国を挙げてのメダル獲得 2)支援充実:練習拠点の充実、選手層の多さ 3)支援充実:オリンピック選手(指導)同様の待遇
韓国	1)練習拠点多さ 2)少ない選手層を効率よく指導 3)多くの国際大会参加で実戦を積んでいる
EU 圏、USA 等	1)健常障がい区別なく同様の練習体制 2)施設の充実による選手層の増大 3)効率良い練習指導体制

### ■事業活動の現状

初心者講習会	指導者講習会	審判員講習会	クラシファイア講習会	ジュニア育成事業	タレント発掘事業	その他
○	○	○	○	×	○	-

### ■2010 バンクーバーパラリンピックおよび 2012 ロンドンパラリンピックの後、競技団体の組織運営上の動向について

- 2013年3月国際ボート連盟(FISA)は競技種目の追加
- 同様に競技種目名称変更 アダプティブローイング→パラローイング
- 練習拠点が各地区で実施(埼玉戸田、横浜鶴見、神奈川相模湖、長野諏訪湖、岐阜長良川、川辺、広島太田川)した事で、選手層が増え、選抜の枠が広がってきている。

### ■2011 スポーツ基本法成立・2012 スポーツ基本計画策定の後、選手強化策などの団体の施策変化について

- 現実に、選手指導者が「無報酬」「ボランティア」での活動では先が見える。
- 総てに制約がある中での活動、難しい部分が多くある。

### ■JPC への要望

- 今後の活動で、助成金額のアップ希望
- 書類(プリント)の多さには大変な労力が掛かります、メール等を活用する事で、「ペーパーレス」の方向でご検討を。なお、重要案件(捺印等)は現状のままです。
- 他、現状組織内運営、職員、スタッフには感謝し、満足をしています。

団体名	一般社団法人 日本パラバレーボール協会	設立	1997年
-----	---------------------	----	-------

### ■事務局の概要について

法人格	一般社団法人	取得年 (取得予定)	2014年	取得の 課題	人材の確保、財源の確保
事務局 運営	設置場所	専用の事務局を設置		職員雇用	なし/会長、一般が兼務
	主な事務 内容	日常の問い合わせ、大会のエントリー、会計管理、その他事務処理			
運営の 仕組み	定款	規約	会計責任者	会計監査の仕組み	危機管理や法令遵守等の対応マニュアル
	×	○	○	○	×
競技登録者数	男子	49	国際大会を め ざす競技者数	男子	18
	女性	26		女性	15
	合計	75		合計	33
競技の特徴	バレーボール技術は必要なのは当然であるが、座位の状態では高さが必要である競技である。				

### ■他団体との関係について

	他の団体との関係	協力内容
JOC 加盟 団体	日本シッティングバレーボール協会[加盟]	助成金、情報の共有
JPC 加盟 団体	-	-
地域団体	地域・障害者スポーツ協会	○教室イベントの実施
	地域・障害者スポーツ指導者協議会	○教室イベントの実施
その他の障 害者スポ ーツ統括競 技団 体	(財)全日本ろうあ連盟	×
	(社福)日本盲人連合	×
	(公財)スペシャルオリンピクス日本	×
	(NPO)日本知的障害者スポーツ連盟	×
その他の 団体	(社)パラリンピアンズ協会	情報交換
	医療法人松本会松本病院	選手・スタッフ健康管理、ドーピング等
	ほりきり整形外科	選手の体力づくりとコンディショニング
	神戸医療福祉専門学校	選手発掘、普及
	-	-

■施設の利用状況ならびに活動拠点について

NTC 及び JISS の利用状況	利用実績	利用機会	施設に関する要望
ナショナルトレーニングセンター (NTC)	あり	パラリンピック前	-
国立スポーツ科学センター (JISS)	なし	-	-
活動拠点	課題・要望		
-	団体競技のため、体育館が必要である。常に使用できる場所があると、計画がたてやすく、強化しやすい。		

■競技種目における強豪国と強化の特徴

強豪国名	強さの背景にある特徴
中国	1)上海と北京に拠点をもち、選手は毎日練習している。 2)選手、コーチには給与がある。 3)全中国での専門の指導者を募り、決定する。
アメリカ	1)地域、大学の支援によりチーム運営 2)長期のキャンプを年に3回以上実施 3)専門のトレーナーを帯同させている。
イラン	1)国の全面的なバックアップ 2)指導者・選手に大会における賞金制度 3)長期のキャンプ実施

■事業活動の現状

初心者講習会	指導者講習会	審判員講習会	クラシファイア講習会	ジュニア育成事業	タレント発掘事業	その他
×	×	×	×	×	×	-

■2010 バンクーバーパラリンピックおよび 2012 ロンドンパラリンピックの後、競技団体の組織運営上の動向について

1)強化部、医療チームの設立 2)国際部担当者、確定
-------------------------------

■2011 スポーツ基本法成立・2012 スポーツ基本計画策定の後、選手強化策などの団体の施策変化について

特になし
------

■JPC への要望

1)選手発掘の支援 2)強化選手の職場への理解の支援 3)予算組の素早い対応
--

団体名	一般社団法人 日本身体障がい者水泳連盟	設立	1984年
-----	---------------------	----	-------

■事務局の概要について

法人格	一般社団法人	取得年 (取得予定)	2013年	取得の 課題	-	
事務局 運営	設置場所	専用の事務局を設置		職員雇用	あり/-	
	主な 事務内容	強化事業にかかる事務、経理事務				
運営の 仕組み	定款	規約	会計責任者	会計監査の仕組み	危機管理や法令遵守等の対応マニュアル	
	○	○	○	○	×	
競技登録者数	男子	397		国際大会を めざす競技者数	男子	28
	女性	204			女性	23
	合計	601			合計	51
競技の特徴	-					

■他団体との関係について

他の団体との関係		協力内容
JOC 加盟 団体	日本水泳連盟[協力]	JISS 利用、一般大会への参加
JPC 加盟 団体	-	-
地域団体	地域・障害者スポーツ協会	○地域大会への協力
	地域・障害者スポーツ指導者協議会	○地域大会への協力
その他の障 害者スポ ーツ統括競技 団体	(財)全日本ろうあ連盟	×
	(社福)日本盲人連合	×
	(公財)スペシャルオリンピクス日本	×
	(NPO)日本知的障害者スポーツ連盟	×
その他の 団体	(公財)日本精神保健福祉連盟	×
	(社)パラリンピアンズ協会	会長を出している
	-	-
	-	-
	-	-

■施設の利用状況ならびに活動拠点について

NTC 及び JISS の利用状況	利用実績	利用機会	施設に関する要望
ナショナルトレーニングセンター (NTC)	あり	パラリンピック前	宿泊利用において、JOC加盟団体優先のため、利用可能かどうかの結果が利用日の間際になり、見通しが立たないことがある。これらが少しでも改善できればありがたい。
国立スポーツ科学センター (JISS)	あり	日常的	プール利用において、日本水泳連盟様の好意での利用になっているので、コースなど空いている日時の利用になる。1コースでも日時の固定ができればありがたい。
活動拠点	課題・要望		
-	世界標準のプールで合宿が出来る宿舍付		

■競技種目における強豪国と強化の特徴

強豪国名	強さの背景にある特徴
中国	1)国家としての養成
ウクライナ	1)国家としての養成 2)1人が複数メダル
オーストラリア	1)健常者組織と同一 2)1人が複数メダル

■事業活動の現状

初心者講習会	指導者講習会	審判員講習会	クラシファイア講習会	ジュニア育成事業	タレント発掘事業	その他
○	○	○	○	○	×	-

■2010バンクーバーパラリンピックおよび2012ロンドンパラリンピックの後、競技団体の組織運営上の動向について

1)法人化を実施 2)事務所を確保 3)専任の事務員(アルバイト)を確保
--

■2011スポーツ基本法成立・2012スポーツ基本計画策定の後、選手強化策などの団体の施策変化について

日本水泳連盟のご理解により、JISS、NTCの利用
---------------------------

■JPCへの要望

1)強化選手データベースシステムなどICT化の促進 2)JPC強化指定選手制度の創設と日本水泳連盟等へのコーチ委託制度の創設 3)競技団体支援通訳の確保 4)常勤専任役員・事務員が設置できる助成制度
--

団体名	日本車いすテニス協会	設立	-年
-----	------------	----	----

■事務局の概要について

法人格	—		取得年 (取得予定)	2015年(予定)	取得の 課題	運営費と経理関係
事務局 運営	設置場所	役員の自宅に併設		職員雇用	あり/-	
	主な 事務内容	事業に関する事務、日本障害者スポーツ協会との連絡事務				
運営の 仕組み	定款	規約	会計責任者	会計監査の仕組み	危機管理や法令遵守等の対応マニュアル	
	○	○	○	○	○	
競技登録者数	男子	371		国際大会を め ざす競技者数	男子	70
	女性	80			女性	30
	合計	451			合計	100
競技の特徴	個人競技である。種目が少なく、男子、女子、Quadの三種目のみである。					

■他団体との関係について

	他の団体との関係	協力内容
JOC 加盟 団体	-	-
JPC 加盟 団体	-	-
地域団体	地域・障害者スポーツ協会	○練習等
	地域・障害者スポーツ指導者協議会	○行事がある際協力
その他の障 害者スポー ツ統括競技 団体	(財)全日本ろうあ連盟	×
	(社福)日本盲人連合	×
	(公財)スペシャルオリンピクス日本	×
	(NPO)日本知的障害者スポーツ連盟	×
その他の 団体	(公財)日本精神保健福祉連盟	×
	(社)パラリンピアンズ協会	×
	日本テニス連盟	全般
	-	-
	-	-

■施設の利用状況ならびに活動拠点について

NTC 及び JISS の利用状況	利用実績	利用機会	施設に関する要望
ナショナルトレーニングセンター (NTC)	あり	パラリンピック前	障害者に対しても利用可能として頂きたいと思います。現在、特定の選手のみ利用可能となっております。
国立スポーツ科学センター (JISS)	あり	パラリンピック前	障害者に対しても利用可能として頂きたいと思います。現在、特定の選手のみ利用可能となっております。
活動拠点	課題・要望		
-	-		

■競技種目における強豪国と強化の特徴

強豪国名	強さの背景にある特徴
オランダ	1)国を上げての助成があり、特にコーチ帯同(多)
フランス	1)テニス協会との連携が大きいようです 2)スポンサーの力(大)
-	-

■事業活動の現状

初心者講習会	指導者講習会	審判員講習会	クラシファイア講習会	ジュニア育成事業	タレント発掘事業	その他
×	○	×	-	○	×	-

■2010 バンクーバーパラリンピックおよび 2012 ロンドンパラリンピックの後、競技団体の組織運営上の動向について

なし
----

■2011 スポーツ基本法成立・2012 スポーツ基本計画策定の後、選手強化策などの団体の施策変化について

なし
----

■JPC への要望

<p>国の助成金の入金が 8 月ですので、1 年の計画(4 月～1 月)の半分の事業が行われた後となり、立替えの財力がない団体にとりましては、非常に厳しい状態が続いております。この時期的な問題が一刻も早く改善されることを望みます。</p>
---

団体名	日本ウィルチェアラグビー連盟	設立	1997年
-----	----------------	----	-------

■事務局の概要について

法人格	—		取得年 (取得予定)	2014年(予定)	取得の 課題	—
事務局 運営	設置場所	役員の自宅に併設			職員雇用	なし/会長、総務委員長が兼務
	主な事務 内容	内・外部との連絡担当、事業計画、運営実施、会員登録など				
運営の 仕組み	定款	規約	会計責任者	会計監査の仕組み	危機管理や法令遵守等の対応マニュアル	
	×	○	○	○	×	
競技登録者数	男子	87		国際大会を めざす競技者数	男子	15
	女性	1			女性	0
	合計	88			合計	15
競技の特徴	<p>・指導者(コーチ)の育成が難しい(一般の競技との相違による) ・英語力があるスタッフが必要(レフリー・クラシファイヤー・コーチ・通訳) ・介助を多く必要とする為、スタッフの確保が必要</p> <p>・競技用具(車いす)の保有・維持に高額な費用が必要</p> <p>・体育館床の清掃に時間を要する</p>					

■他団体との関係について

他の団体との関係		協力内容
JOC 加盟 団体	—	—
JPC 加盟 団体	日本ウィルチェアラグビー連盟	—
地域団体	地域・障害者スポーツ協会	○講習会・研修会の実施
	地域・障害者スポーツ指導者協議会	○講習会・研修会の実施
その他の障 害者スポ ーツ統括競技 団体	(財)全日本ろうあ連盟	×
	(社福)日本盲人連合	×
	(公財)スペシャルオリンピクス日本	×
	(NPO)日本知的障害者スポーツ連盟	×
	(公財)日本精神保健福祉連盟	×
その他の 団体	(社)パラリンピアンズ協会	情報交換
	国立障害者リハビリテーションセンター	体育館借用・メディカルチェック(情報提供など)
	ラグビーフットボール協会	支援・情報交換など
	日本医療科学大学	講演受諾、ボランティア依頼
	国際武道大学	ボランティア依頼

■施設の利用状況ならびに活動拠点について

NTC 及び JISS の利用状況	利用実績	利用機会	施設に関する要望
ナショナルトレーニングセンター (NTC)	なし	-	強化合宿での利用、スポーツコート (床材)の常設
国立スポーツ科学センター (JISS)	なし	-	資金・人材などの支援、パラ競技につ いて一般社会への周知・協力依頼
活動拠点	課題・要望		
国立障害者リハビリテーション センター (埼玉県所沢市)	-		

■競技種目における強豪国と強化の特徴

強豪国名	強さの背景にある特徴
USA	国の支援体制・組織(資金・人材・環境・思想など)
AUS	国の支援体制・組織(資金・人材・環境・思想など)
CAN	国の支援体制・組織(資金・人材・環境・思想など)

■事業活動の現状

初心者講習会	指導者講習会	審判員講習会	クラシファイア 講習会	ジュニア育成 事業	タレント発掘 事業	その他
○	○	○	○	×	×	-

■2010 バンクーバーパラリンピックおよび 2012 ロンドンパラリンピックの後、競技団体の組織運営上の動向について

1)海外からの HC・AC の招へい(規定の改善など JPC の理解を得ての取組み) 2)強化体制の見直し、スタッフのレベルアップの取組み
--

■2011 スポーツ基本法成立・2012 スポーツ基本計画策定の後、選手強化策などの団体の施策変化について

-
---

■JPC への要望

1)継続的な支援体制(資金・技術など) 2)医・科・学サポートなど事業への具体的なアドバイス 3)海外情報などの翻訳、通訳者の育成・派遣 4)人材派遣・ボランティア手配、施設確保などの業務 5)国や一般会社への周知のためのイベントの開催
--

団体名	日本ゴールボール協会	設立	1994年
-----	------------	----	-------

■事務局の概要について

法人格	—		取得年 (取得予定)	2015年(予定)	取得の 課題	公認会計士との契約、安定 した財政基盤の確立
事務局 運営	設置場所	専用の事務局を設置			職員雇用	なし/理事長が兼務
	主な 事務内容	・関連組織からの連絡窓口 ・協会内の連絡調整				
運営の 仕組み	定款	規約	会計責任者	会計監査の仕組み	危機管理や法令遵守等の対応マニュアル	
	×	○	○	○	×	
競技登録者数	男子	60		国際大会を め ざす競技者数	男子	20
	女性	40			女性	15
	合計	100			合計	35
競技の特徴	視覚障害者を対象として考案された球技で、一般的な競技に無い視力の活用を制限された上で身体機能プラス聴覚、触覚等の感覚器を活用するところ。					

■他団体との関係について

他の団体との関係		協力内容
JOC 加盟 団体	—	—
JPC 加盟 団体	—	—
地域団体	地域・障害者スポーツ協会	○ゴールボールの振興に係る事業協力、国内大会開催に係る協力者の募集等
	地域・障害者スポーツ指導者協議会	○ゴールボールの振興に係る事業協力、国内大会開催に係る協力者の募集等
その他の障 害者スポー ツ統括競技 団体	(財)全日本ろうあ連盟	×
	(社福)日本盲人連合	○情報提供
	(公財)スペシャルオリンピクス日本	×
	(NPO)日本知的障害者スポーツ連盟	×
その他の 団体	(公財)日本精神保健福祉連盟	×
	(社)パラリンピアンズ協会	情報の受信、パラリンピアンへの加盟
	国立障害者リハビリテーションセンター	合宿会場の提供
	東京都立八王子盲学校	合宿会場の提供
	東京都障害者総合スポーツセンター	大会会場の提供
	東京都多摩障害者スポーツセンター	大会会場の提供

## ■施設の利用状況ならびに活動拠点について

NTC 及び JISS の利用状況	利用実績	利用機会	施設に関する要望
ナショナルトレーニングセンター (NTC)	なし	パラリンピック前	強化合宿の宿舎として利用
国立スポーツ科学センター (JISS)	なし	パラリンピック前	動作分析等のサポート、 情報分析等のサポート
活動拠点	課題・要望		
国立障害者リハビリテーションセンター (埼玉県所沢市)	強化合宿や大会での施設利用に際し配慮頂いているが、日程調整等が必要となる。全国から集まりやすい所に拠点を作りたいが、専用利用できる日程、時間等の制限が厳しいので緩和して欲しい。		

## ■競技種目における強豪国と強化の特徴

強豪国名	強さの背景にある特徴
中国	1)ゴールボール競技専用施設がある(NTC) 2)強化合宿(代表の)等への参加については、国、企業が選手の身分(収入)を保証している 3)スタッフについても同上
韓国	1)障害者用の NTC がある 2)強化合宿、遠征に参加する場合、職場で保障されている 3)企業や役所等が障害者アスリートを積極的に雇用し、チームを抱えている
-	-

## ■事業活動の現状

初心者講習会	指導者講習会	審判員講習会	クラシファイア講習会	ジュニア育成事業	タレント発掘事業	その他
○	×	○	×	○	○	-

## ■2010 バンクーバーパラリンピックおよび 2012 ロンドンパラリンピックの後、競技団体の組織運営上の動向について

選手達が安心して競技を続けられる組織(法人化)への移行を考える者が多くなった。
---

## ■2011 スポーツ基本法成立・2012 スポーツ基本計画策定の後、選手強化策などの団体の施策変化について

-
---

## ■JPC への要望

<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラリンピックで好成績を収めた競技以外の強化について検討いただきたい。パラリンピック種目競技団体全体のボトムアップが必要と感じます。(長期強化計画)</li> <li>・あと一歩で世界に届く競技については、短期的に強化費を付け競技力を伸ばすような制度を検討いただきたい。</li> <li>・選手を支えているスタッフ達の活動が社会的にも評価を受け、所属する職場において理解、支援されるような方策を検討いただきたい。</li> </ul>
--

団体名	日本身体障害者アーチェリー連盟	設立	1976年
-----	-----------------	----	-------

■事務局の概要について

法人格	-		取得年 (取得予定)	-年	取得の 課題	-
事務局 運営	設置場所	役員の自宅に付設			職員雇用	-/副理事長が兼務
	主な 事務内容	-				
運営の 仕組み	定款	規約	会計責任者	会計監査の仕組み	危機管理や法令遵守等の対応マニュアル	
	×	○	○	○	×	
競技登録者数	男子	196		国際大会を め ざす競技者数	男子	10
	女性	37			女性	3
	合計	233			合計	13
競技の特徴	①弓具、特に消耗品である矢が高価→競技人口を増加させるのに障害となっている。 ②メンタル面での強化→国際大会への積極的な参加→財政基盤の確立					

■他団体との関係について

他の団体との関係		協力内容
JOC 加盟 団体	全日本アーチェリー連盟[加盟]	各府県連盟のサポートを受けている、NTC の合宿利用、IF との連絡、調整、
JPC 加盟 団体	-	-
地域団体	地域・障害者スポーツ協会	○競技大会開催時のサポート、アーチェリー教室への講師派遣
	地域・障害者スポーツ指導者協議会	○技術講習会への講師派遣、競技大会開催時の人的サポート
その他の障 害者スポー ツ統括競技 団体	(財)全日本ろうあ連盟	×
	(社福)日本盲人連合	×
	(公財)スペシャルオリンピクス日本	×
	(NPO)日本知的障害者スポーツ連盟	×
	(公財)日本精神保健福祉連盟	×
その他の 団体	(社)パラリンピアンズ協会	×
	-	-
	-	-
	-	-
	-	-

■施設の利用状況ならびに活動拠点について

NTC 及び JISS の利用状況	利用実績	利用機会	施設に関する要望
ナショナルトレーニングセンター (NTC)	あり	日常的	(2013 強化指定選手強化合宿)特 ない。快適な合宿を実施出来た。
国立スポーツ科学センター (JISS)	なし	日常的	強化合宿時の栄養指導や各種測定 をサポートを受けたい。
活動拠点	課題・要望		
浜寺公園アーチェリー場 (大阪府堺市)	大阪府の公的施設で、一般競技者との共用であり、専用使用は可能では あるが、一般競技者からの不満を聞くこともある。		

■競技種目における強豪国と強化の特徴

強豪国名	強さの背景にある特徴
-	-
-	-
-	-

■事業活動の現状

初心者講習会	指導者講習会	審判員講習会	クラシファイア 講習会	ジュニア育成 事業	タレント発掘 事業	その他
○	×	×	×	×	×	-

■2010 バンクーバーパラリンピックおよび 2012 ロンドンパラリンピックの後、競技団体の組織運営上の動向について

1)強化体制に連盟内部だけでなく外部の人材、支援スタッフを登用 2)選手会と強化部の連携を密にする
--

■2011 スポーツ基本法成立・2012 スポーツ基本計画策定の後、選手強化策などの団体の施策変化について

1)全日本アーチェリー連盟の強化スタッフのサポートを受けやすくなった 2)NTC の利用が出来るようになった(全日本アーチェリー連盟を通じて)
--

■JPC への要望

「成果主義」は理解出来なくはないが、財政基盤の弱い競技団体については選手の個人負担が非常に大きい。「成果を挙げるための経費」にも配慮を・・・
--

団体名	特定非営利活動法人 日本障害者スキー連盟	設立	2001年
-----	----------------------	----	-------

■事務局の概要について

法人格	NPO 法人		取得年 (取得予定)	2001年	取得の 課題	-
事務局 運営	設置場所		専用の事務局を設置		職員雇用	あり/-
	主な 事務内容		・事務処理全般 ・強化部全般			
運営の 仕組み	定款	規約	会計責任者	会計監査の仕組み	危機管理や法令遵守等の対応マニュアル	
	○	○	○	○	×	
競技登録者数	男子	40	国際大会を め ざす競技者数	男子	20	
	女性	20		女性	10	
	合計	60		合計	30	
競技の特徴	チェアスキーカテゴリーの選手は寿命が長く、動体視力と上半身強化によって長い期間世界のトップで活躍出来る。					

■他団体との関係について

	他の団体との関係	協力内容
JOC 加盟 団体	全日本スキー連盟[協力]	大会役員派遣、国際ルール取得、大会公認取得
JPC 加盟 団体	-	-
地域団体	地域・障害者スポーツ協会	○大会役員・指導者の派遣等
	地域・障害者スポーツ指導者協議会	○大会役員・イベントスタッフの派遣等
その他の障 害者スポー ツ統括競技 団体	(財)全日本ろうあ連盟	○スキー大会を通じて交流(同大会に参加してもらっている)
	(社福)日本盲人連合	×
	(公財)スペシャルオリンピクス日本	×
	(NPO)日本知的障害者スポーツ連盟	○強化部活動を合同で実施(ユニフォーム・同大会での参加)
その他の 団体	(公財)日本精神保健福祉連盟	×
	(社)パラリンピアンズ協会	×
	横浜リハビリテーションセンター	用具開発等
	神奈川総合リハビリテーションセンター	用具開発等
	-	-
-	-	

■施設の利用状況ならびに活動拠点について

NTC 及び JISS の利用状況	利用実績	利用機会	施設に関する要望
ナショナルトレーニングセンター (NTC)	なし		今は無し
国立スポーツ科学センター (JISS)	なし	-	今は無し
活動拠点	課題・要望		
菅平高原スキー場	指導者不足(常駐者)		

■競技種目における強豪国と強化の特徴

強豪国名	強さの背景にある特徴
スペイン	1)国家支援による、VI(視覚)選手の育成 2)金銭面、施設職場の提供による選手+ガイドの年間を通じての共同生活が実現(VIカテゴリーでは常にトップを走っている)
アメリカ	強化スタッフの健常者チームとの交流が連盟組織が一本化されている為実現している(立位男子総合チャンピオン・アメリカチーム)
フランス	若手選手発掘・育成に関して特化した強化プログラムがあり、当然それに特化した予算面での支援が充実している(立位女子・2013世界選手権時、18才選手5種目完全優勝)

■事業活動の現状

初心者講習会	指導者講習会	審判員講習会	クラシファイア講習会	ジュニア育成事業	タレント発掘事業	その他
○	○	×	×	○	○	-

■2010バンクーバーパラリンピックおよび2012ロンドンパラリンピックの後、競技団体の組織運営上の動向について

強化部活動見直し⇒定期的に現場スタッフとの意見交換の実施
------------------------------

■2011スポーツ基本法成立・2012スポーツ基本計画策定の後、選手強化策などの団体の施策変化について

エリートスポーツ選手としての心構え等、選手の競技力向上はもちろんの事、心理面に於ける強さを重要視している。
---

■JPCへの要望

専用のトレーニングセンター設立を目指して下さい。
--------------------------

団体名	日本脳性麻痺 7 人制サッカー協会	設立	2001 年
-----	-------------------	----	--------

■事務局の概要について

法人格	-		取得年 (取得予定)	-年	取得の 課題	-
事務局 運営	設置場所	役員の自宅に付設			職員雇用	なし/-
	主な 事務内容	会員への連絡等事務、会計事務、事業・助成金申請等事務				
運営の 仕組み	定款	規約	会計責任者	会計監査の仕組み	危機管理や法令遵守等の対応マニュアル	
	×	○	○	○	×	
競技登録者数	男子	84	国際大会を め ざす競技者数	男子	9	
	女性	2		女性	-	
	合計	86		合計	9	
競技の特徴	サッカー競技と異なる点 ピッチサイズが 50～55m×70～75m、ゴールが 2m×5m と一回り小さい。オフサイドルールは適用しない。片手でアンダースローインを認める。障害によりクラス分けを行う。					

■他団体との関係について

	他の団体との関係	協力内容
JOC 加盟 団体	-	-
JPC 加盟 団体	サッカー団体	情報交換等、、、
地域団体	地域・障害者スポーツ協会	×
	地域・障害者スポーツ指導者協議会	×
その他の障 害者スポ ーツ統括競技 団体	(財)全日本ろうあ連盟	×
	(社福)日本盲人連合	×
	(公財)スペシャルオリンピクス日本	×
	(NPO)日本知的障害者スポーツ連盟	×
その他の 団体	(公財)日本精神保健福祉連盟	×
	(社)パラリンピアンズ協会	×
	-	-

■施設の利用状況ならびに活動拠点について

NTC 及び JISS の利用状況	利用実績	利用機会	施設に関する要望
ナショナルトレーニングセンター (NTC)	なし		-
国立スポーツ科学センター (JISS)	なし	-	-
活動拠点	課題・要望		
国立障害者 リハビリテーションセンター (埼玉県所沢市並木)	強いて言えば「グランドコンディションの向上」でその他は満足しております。		

■競技種目における強豪国と強化の特徴

強豪国名	強さの背景にある特徴
ウクライナ	1)プロ化(代表候補選手は国からの手当で生計を立て、練習量が豊富) 2)下肢障害の軽度なタレントが多い 3)基本技術がしっかりとしている
ロシア	1)プロ化(代表候補選手は国からの手当で生計を立て、練習量が豊富) 2)基本技術がしっかりとしている。 3)設備、強化体制、サッカー協会との連携等整備されている。
イラン	1)プロ化(代表候補選手は国からの手当で生計を立て、練習量が豊富) 2)テクニック等、技術がしっかりとしている。 3)基本技術がしっかりとしている。

■事業活動の現状

初心者講習会	指導者講習会	審判員講習会	クラシファイア講習会	ジュニア育成事業	タレント発掘事業	その他
×	×	×	×	×	×	-

■2010 バンクーバーパラリンピックおよび 2012 ロンドンパラリンピックの後、競技団体の組織運営上の動向について

強化スタッフの変更
-----------

■2011 スポーツ基本法成立・2012 スポーツ基本計画策定の後、選手強化策などの団体の施策変化について

特になし
------

■JPC への要望

1)環境整備 2)施設利用 3)大学等研究機関との連携
-----------------------------------

団体名	日本ボッチャ協会	設立	1997年
-----	----------	----	-------

■事務局の概要について

法人格	—		取得年 (取得予定)	—年	取得の 課題	規約・定款等の見直し、会計・財務 の精度向上、各都道府県への協会 設立など
事務局 運営	設置場所	役員の職場に付設			職員雇用	なし／大学教員(助教)が兼務
	主な 事務内容	会計、書類作成、発行、メディア対応など				
運営の 仕組み	定款	規約	会計責任者	会計監査の仕組み	危機管理や法令遵守等の対応マニュアル	
	×	○	○	×	×	
競技登録者数	男子	—		国際大会を め ざす競技者数	男子	—
	女性	—			女性	—
	合計	220			合計	—
競技の特徴	男女の種目の別がなく、重度障がい者のために考案されたスポーツ					

■他団体との関係について

他の団体との関係		協力内容
JOC 加盟 団体	—	—
JPC 加盟 団体	—	—
地域団体	地域・障害者スポーツ協会	○・依頼のあった協会への講師派遣 ・大会開催にあたり後援依頼 ・ニュースレター送付、情報提示 など
	地域・障害者スポーツ指導者協議会	○・依頼のあった協会への講師派遣 ・大会開催にあたり後援依頼 ・ニュースレター送付、情報提示 など
その他の障 害者スポー ツ統括競技 団体	(財)全日本ろうあ連盟	×
	(社福)日本盲人連合	×
	(公財)スペシャルオリンピクス日本	×
	(NPO)日本知的障害者スポーツ連盟	×
	(公財)日本精神保健福祉連盟	×
その他の 団体	(社)パラリンピアンズ協会	×
	—	—
	—	—
	—	—
	—	—

■施設の利用状況ならびに活動拠点について

NTC 及び JISS の利用状況	利用実績	利用機会	施設に関する要望
ナショナルトレーニングセンター (NTC)	なし		-
国立スポーツ科学センター (JISS)	なし	-	選手強化に向けた身体機能、体力等の測定
活動拠点	課題・要望		
-	広く全国で普及・強化を行うため、当面は拠点を設ける予定はない		

■競技種目における強豪国と強化の特徴

強豪国名	強さの背景にある特徴
タイ	1) 国の全面的支援（国際大会では大使館がバックアップ） 2) タレント発掘能力が高い（おそらくタイ国内の CP 協会との連携が密にとれている）
韓国	1) 指導体制の確立 2) メダル獲得が生活保障に直結する
-	-

■事業活動の現状

初心者講習会	指導者講習会	審判員講習会	クラシファイア講習会	ジュニア育成事業	タレント発掘事業	その他
○	○	○	○	○	○	-

■2010 バンクーバーパラリンピックおよび 2012 ロンドンパラリンピックの後、競技団体の組織運営上の動向について

国際統括団体が CPISRA から BISFed に変わった
--------------------------------

■2011 スポーツ基本法成立・2012 スポーツ基本計画策定の後、選手強化策などの団体の施策変化について

-
---

■JPC への要望

-
---

団体名	日本車いすフェンシング協会	設立	1998年
-----	---------------	----	-------

■事務局の概要について

法人格	-		取得年 (取得予定)	-年	取得の 課題	-
事務局 運営	設置場所		役員の自宅に付設		職員雇用	なし/-
	主な 事務内容		-			
運営の 仕組み	定款	規約	会計責任者	会計監査の仕組み	危機管理や法令遵守等の対応マニュアル	
	×	○	○	○	×	
競技登録者数	男子	8		国際大会を めざす競技者数	男子	2
	女性	0			女性	0
	合計	8			合計	2
競技の特徴	-					

■他団体との関係について

	他の団体との関係	協力内容
JOC 加盟 団体	-	-
JPC 加盟 団体	日本車いすフェンシング協会	海外試合の情報提供、、、
地域団体	地域・障害者スポーツ協会	×
	地域・障害者スポーツ指導者協議会	×
その他の障 害者スポー ツ統括競技 団体	(財)全日本ろうあ連盟	×
	(社福)日本盲人連合	×
	(公財)スペシャルオリンピクス日本	×
	(NPO)日本知的障害者スポーツ連盟	×
その他の 団体	(公財)日本精神保健福祉連盟	×
	(社)パラリンピアンズ協会	×
	-	-
	-	-
	-	-

■施設の利用状況ならびに活動拠点について

NTC 及び JISS の利用状況	利用実績	利用機会	施設に関する要望
ナショナルトレーニングセンター (NTC)	なし	-	-
国立スポーツ科学センター (JISS)	なし	-	-
活動拠点	課題・要望		
京都市障害者スポーツセンター (京都市左京区)	-		

■競技種目における強豪国と強化の特徴

強豪国名	強さの背景にある特徴
フランス	-
イタリア	-
香港	-

■事業活動の現状

初心者講習会	指導者講習会	審判員講習会	クラシファイア講習会	ジュニア育成事業	タレント発掘事業	その他
○	×	×	×	×	×	-

■2010 バンクーバーパラリンピックおよび 2012 ロンドンパラリンピックの後、競技団体の組織運営上の動向について

ロンドン参加無
---------

■2011 スポーツ基本法成立・2012 スポーツ基本計画策定の後、選手強化策などの団体の施策変化について

-
---

■JPC への要望

-
---

団体名	一般社団法人 日本パラサイクリング連盟	設立	1990年
-----	---------------------	----	-------

■事務局の概要について

法人格	一般社団法人	取得年 (取得予定)	2012年	取得の 課題	-
事務局 運営	設置場所	専用の事務局を設置		職員雇用	あり/-
	主な 事務内容	事務全般。合宿・遠征の準備、手配など。			
運営の 仕組み	定款	規約	会計責任者	会計監査の仕組み	危機管理や法令遵守等の対応マニュアル
	○	○	○	○	×
競技登録者数	男子	40	国際大会を めざす競技者数	男子	15
	女性	10		女性	3
	合計	50		合計	18
競技の特徴	機材(自転車)を使う競技ですので、選手に機材での不利な点がないように常に新しい機材を投入したい。				

■他団体との関係について

	他の団体との関係	協力内容
JOC 加盟 団体	(公財)日本自転車競技連盟[加盟]	スタッフの交流、情報収集、パイロットの協力体制、大会の共催など
JPC 加盟 団体	-	-
地域団体	地域・障害者スポーツ協会	×
	地域・障害者スポーツ指導者協議会	×
その他の障 害者スポー ツ統括競技 団体	(財)全日本ろうあ連盟	×
	(社福)日本盲人連合	×
	(公財)スペシャルオリンピクス日本	×
	(NPO)日本知的障害者スポーツ連盟	×
その他の 団体	(公財)日本精神保健福祉連盟	×
	(社)パラリンピアンズ協会	選手が理事として活動中
	宮崎県西都市	合宿の協力
	-	-
	-	-

■施設の利用状況ならびに活動拠点について

NTC 及び JISS の利用状況	利用実績	利用機会	施設に関する要望
ナショナルトレーニングセンター (NTC)	なし		日常的に使えるようにして欲しい。
国立スポーツ科学センター (JISS)	あり	パラリンピック前	日常的に使えるようにして欲しい。
活動拠点	課題・要望		
日本サイクルスポーツセンター (静岡県伊豆市)	交通が不便である		

■競技種目における強豪国と強化の特徴

強豪国名	強さの背景にある特徴
オーストラリア	自転車競技の普及、オリンピックとパラリンピックの価値観が一緒
イギリス	同上
ニュージーランド	予算を先取りし、組織づくりを優先している

■事業活動の現状

初心者講習会	指導者講習会	審判員講習会	クラシファイア講習会	ジュニア育成事業	タレント発掘事業	その他
○	○	×	×	×	○	-

■2010 バンクーバーパラリンピックおよび 2012 ロンドンパラリンピックの後、競技団体の組織運営上の動向について

自転車競技連盟(JCF)との連携により、JCFのコーチに指導を受けることができるようにし、メカニックなどのスタッフもJCF専属のメカニックが来てもらい選手が安心してレースに臨めるような体制を作った。  
タレント発掘の為に体制づくりを強化、全国各地でのトレーニング、普及拠点づくり(北海道、富山、宮崎、北九州、福島など)スタッフを増加し、(ドクター、義肢装具士など)専門のスタッフが選手と直接やり取りできる環境づくりを行った

■2011 スポーツ基本法成立・2012 スポーツ基本計画策定の後、選手強化策などの団体の施策変化について

選手強化策として、自転車に乗ったことのない方を対象に体験会を実施し、特に女子の選手向けにスポーツ経験がない方も含めて体験会を実施している。体験会には、パラリンピックのメダリストも参加し、選手が直接アドバイスできるような体制を作っている。一人でも多くの人が夢と希望を持って自転車に乗れるような環境づくりを心がけている。

■JPC への要望

パラリンピックの参加枠を獲得するための海外遠征がリオデジャネイロで言えば、2014、2015年の年になるため、この2年間の予算を増やして、一つでも多くの大会に参戦できるようにしてほしい。  
また、自転車競技は必ず監督、メカニック、コーチの3人のスタッフが必要であるためその確保を協力いただきたい。以上です。

団体名	一般社団法人 日本車椅子バスケットボール連盟	設立	1975年
-----	------------------------	----	-------

■事務局の概要について

法人格	一般社団法人	取得年 (取得予定)	2013年	取得の 課題	-
事務局 運営	設置場所	専用の事務局を設置		職員雇用	あり/-
	主な 事務内容	一般的事務 大会運営 等 海外への派遣等			
運営の 仕組み	定款	規約	会計責任者	会計監査の仕組み	危機管理や法令遵守等の対応マニュアル
	×	○	○	○	×
競技登録者数	男子	700	国際大会を めざす競技者数	男子	100
	女性	50		女性	30
	合計	750		合計	130
競技の特徴	各選手に障害レベルに応じた持ち点が設定されている				

■他団体との関係について

	他の団体との関係	協力内容
JOC 加盟 団体	-	-
JPC 加盟 団体	日本車椅子バスケットボール連盟	-
地域団体	地域・障害者スポーツ協会	○体験講座 地域の大会 等
	地域・障害者スポーツ指導者協議会	-
その他の障 害者スポー ツ統括競技 団体	(財)全日本ろうあ連盟	×
	(社福)日本盲人連合	×
	(公財)スペシャルオリンピクス日本	×
	(NPO)日本知的障害者スポーツ連盟	×
その他の 団体	(公財)日本精神保健福祉連盟	×
	(社)パラリンピアンズ協会	×
	-	-
	-	-
	-	-

■施設の利用状況ならびに活動拠点について

NTC 及び JISS の利用状況	利用実績	利用機会	施設に関する要望
ナショナルトレーニングセンター (NTC)	なし		当初は使えないとの回答 バリアフリーになってないとのこと
国立スポーツ科学センター (JISS)	なし	-	-
活動拠点	課題・要望		
-	-		

■競技種目における強豪国と強化の特徴

強豪国名	強さの背景にある特徴
オーストラリア	1)球に対してどん欲である 2)シュート率の確実さ 3)
-	-
-	-

■事業活動の現状

初心者講習会	指導者講習会	審判員講習会	クラシファイア講習会	ジュニア育成事業	タレント発掘事業	その他
○	○	○	○	○	○	-

■2010 バンクーバーパラリンピックおよび 2012 ロンドンパラリンピックの後、競技団体の組織運営上の動向について

-
---

■2011 スポーツ基本法成立・2012 スポーツ基本計画策定の後、選手強化策などの団体の施策変化について

-
---

■JPC への要望

-
---

団体名	一般社団法人 日本障害者乗馬協会	設立	1995年
-----	------------------	----	-------

■事務局の概要について

法人格	一般社団法人	取得年 (取得予定)	2009年	取得の 課題	-
事務局 運営	設置場所	役員の職場に付設		職員雇用	なし/-
	主な 事務内容	会計 会報紙の発行 国内強化合宿の実施 その他事務手続き			
運営の 仕組み	定款	規約	会計責任者	会計監査の仕組み	危機管理や法令遵守等の対応マニュアル
	○	-	×	○	×
競技登録者数	男子	3	国際大会を め ざす競技者数	男子	2
	女性	2		女性	2
	合計	5		合計	4
競技の特徴	フィギュアスケート同様、採点方式の競技である。クラシファイアによる障害の程度判定の後、5つのグループに分けられ、同グループ内で競い順位付けされる。パラリンピック及び世界選手権の出場馬は出場資格を獲得した際に騎乗した馬でしか出場できない。				

■他団体との関係について

	他の団体との関係	協力内容
JOC 加盟 団体	-	-
JPC 加盟 団体	一般社団法人日本障害者乗馬協会	資金的助成を受けている、困った時の相談相手、
地域団体	地域・障害者スポーツ協会	○資金的助成を受けている
	地域・障害者スポーツ指導者協議会	×
その他の障 害者スポー ツ統括競技 団体	(財)全日本ろうあ連盟	×
	(社福)日本盲人連合	×
	(公財)スペシャルオリンピクス日本	○当協会主催の全国障害者馬術大会へ参加いただいている。
	(NPO)日本知的障害者スポーツ連盟	×
その他の 団体	(公財)日本精神保健福祉連盟	×
	(社)パラリンピアンズ協会	×
	-	-
	-	-
	-	-

■施設の利用状況ならびに活動拠点について

NTC 及び JISS の利用状況	利用実績	利用機会	施設に関する要望
ナショナルトレーニングセンター (NTC)	なし		-
国立スポーツ科学センター (JISS)	なし	-	-
活動拠点	課題・要望		
-	今後、兵庫県三木市の三木ホースランドパーク、東京馬事公苑などを拠点にしたいと考えている。		

■競技種目における強豪国と強化の特徴

強豪国名	強さの背景にある特徴
イギリス ドイツ等のヨーロッパ勢	1)馬匹資源の豊富さ 2)エリア内での公認競技が多い為、トレーニングしやすい、ポイントが稼ぎやすい 3)乗馬愛好者が多く理解者が多い
-	-
-	-

■事業活動の現状

初心者講習会	指導者講習会	審判員講習会	クラシファイア講習会	ジュニア育成事業	タレント発掘事業	その他
○	○	○	○	×	×	-

■2010 バンクーバーパラリンピックおよび 2012 ロンドンパラリンピックの後、競技団体の組織運営上の動向について

-
---

■2011 スポーツ基本法成立・2012 スポーツ基本計画策定の後、選手強化策などの団体の施策変化について

-
---

■JPC への要望

1)選手発掘、育成、強化のバックアップ 2)海外遠征のバックアップ 3)国内での協議開催のバックアップ 4)日本馬術連盟との協力へのバックアップ
---